

わがまち堀切のまちづくり

# 誰もが、堀切の魅力を楽しみ、住み続けられるまちづくり



浮世絵 東京名所花競 堀切菖蒲 安達吟光画 明示22年(1889)刊  
(葛飾区郷土と天文の博物館所蔵 かつしかデジタルミュージアム)



堀切地区マスコットキャラクター ほりきりん



浮世絵 名所戸百景 堀切の花菖蒲 歌川広重(初代)画 安政4年(1857)刊  
(葛飾区郷土と天文の博物館所蔵 かつしかデジタルミュージアム)

堀切地区まちづくり推進協議会

東京都葛飾区堀切地区

# 1 住民先行・行政支援型の総合的まちづくり

堀切地区は江戸時代から続く花菖蒲の名所で、駅の名称にもなっている「堀切菖蒲園」を擁する地区です。戦後、都市基盤が未整備なまま急速に市街化し、現在は水路跡等の「くねくね道」が多く残る密集市街地となっています。昭和の終わり頃から町工場や商店街が衰退して人口減少が進み、災害危険度も高いことから「地域活性化」と「防災対策」が大きな課題となりました。

その課題に取り組むために地元 8 町会と 6 商店街、住民有志が「堀切地区まちづくり推進協議会（事務局は住民有志で構成）」を設立し、地区の総合的なまちづくりに取り組んでいます。住民が主体的に様々な企画の立案と推進を行い、その活動を専門家がサポート、具体的な構想や計画案がまとまった段階で行政が事業化支援等を行う、三者の協働体制で進めています。



堀切菖蒲園

### 堀切地区 まちづくり推進協議会ってなあ〜に？

すいしんきょうぎかい

ねえ ほりくん この活動ってなに？

あ！

おしえて ほりきりん！

ほりくん きりちゃん ええとね

平成 16 年に京成本線荒川橋梁の架け替え事業が発表されたんです

たしかに線路が通って一部分土手が崩れて...

あ！

そのことをキッカケに生まれた堀切の街づくりを考える団体ですよ

あ！

堀切のいろいろな人たちが

商店街 有志 町会

合言葉だね！

誰もが、堀切の魅力を楽しみ、住み続けられるまちづくり

スローガンはコレですよ！

### 「ほりきりん」がお答えします。

### さまざまな活動

堀切の顔になる駅前づくり 駅周辺の将来を考える会

まちあるきやアンケートなどを行いながら、堀切菖蒲園駅一帯の魅力ある駅前づくりを考えています。

### イベント参加 & PR 活動

協議会の活動紹介&堀切のまちづくり情報をイベントなどで積極的に発信しています。また、このニュースを発行し、日頃から皆さんへの堀切地区のまちづくりの情報発信に努めています！

大塚線サ大会 菖蒲まつり

### 堀切のマスコット 「ほりきりん!!」

「ほりきりん」が生まれたのも、当協議会！みなさんと一緒に、堀切のまちを元気にするためにガンバっています！「ほりきりんを考える会」では、管理やルールについて話し合っています。

### 住み続けられるまちづくりの取り組み

建替えの支援も！ 二丁目周辺及び四丁目地区が不燃化特区に指定され、一定の条件を満たす場合、建物の建替えに助成金などが出る支援が受けられるようになりました。

地域の課題を解決！ 密集事業を導入し、防災活動の拠点となる公園の整備や、狭い道路の解消などを進めています。

まちづくりのルール作り！ 地区計画を定め、建替えは準耐火以上にするなど、将来的に災害に強いまちを目指します。

水路跡の「くねくね道」

### 堀切地区まちづくり推進協議会

事務局	駅周辺の将来を考える会
役割：協議会活動の検討・調整 ニュース編集 など	ほりきりんを考える会
	(仮) 街づくり事業 PT
	協議会 PR 活動

これがまちづくり推進協議会の活動体制ですよ〜

誰でも参加できます

まが by うらうら (堀切地区)

ほりくん ほりきりん きりちゃん

みなさまの参加を募集しております！

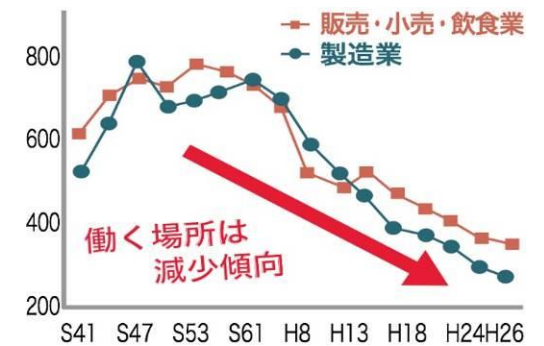
※まちづくり活動に興味・関心のある方、下記連絡先までお問い合わせください。

※問い合わせ先

堀切地区まちづくり推進協議会  
事務局 都市整備部 街づくり推進課 (早田、丸山、鈴木) 直通: 03-3695-1111 (内線2508)  
代表: 03-3695-1111 (内線2508)  
事務局 都市整備部 街づくり推進課 (早田、丸山、鈴木) 直通: 03-5654-8391



水路跡の「くねくね道」



私たちの活動は



## 2 「堀切地区まちづくり構想」の提案とその実現に向けた多角的な取組み



堀切地区のまちづくり活動は平成 16 年に国土交通省が「京成本線荒川橋梁架替事業」を発表したことを契機に始まりました。平成 18 年に堀切地区まちづくり検討協議会と勉強会（現在の推進協議会の前身）を設立して、平成 22 年に防災、地域活性化、橋梁架替事業への対応に関する方針をまとめた「堀切地区まちづくり構想」を作成し、区長へ提案しました。その後、その構想を実現するために3部会に分かれて活動を開始し、防災と橋梁架替事業への対応については不燃化特区制度と密集事業の導入、防災街区整備地区計画の策定を果たしました。また、地域活性化については様々なモデルプロジェクトを企画・実施することで、新たな地域活動の展開と多様な主体の連携を促してきました。

そして平成 27 年からは、それまでの3部会体制を見直して「堀切地区まちづくり構想」に残された最後の大きな課題である『駅周辺の整備』への取り組みを開始し、平成 29 年に「堀切地区まちづくり戦略（案）」を作成・提案しました。



堀切地区まちづくり推進協議会			
	防災部会	鉄道部会	活性化部会
平成19年度	二丁目周辺地区の整備イメージ検討	橋梁架替事業を活かすまちづくりの検討	地域活性化のアイデアの検討
平成20年度	震災復興まちづくり訓練	地区計画の勉強	
平成21年度	『堀切地区まちづくり構想』の作成・提案		
平成22年度	防災まちづくり整備構想の検討・提案	四丁目地区住民と整備構想を検討	モデルプロジェクトの実施
平成23年度			
平成24年度	区と地区住民による整備計画づくりへ引き継ぎ		活性化の視点からの提案
平成25年度			
平成26年度	不燃化特区の指定		
平成27年度	密集事業開始／防災街区整備地区計画の決定		
平成27年度～	駅周辺の整備への取り組み （『堀切地区まちづくり戦略（案）』の作成・提案）		

### 3 ソフトとハードを融合し「事前復興」を目指した防災まちづくり

堀切地区は元々防災意識が高い地区で、各町会の自主防災活動に積極的に取り組んできました。そのため、当初はそのソフトの防災活動を円滑に行える環境整備を念頭に防災まちづくりを考えました。しかし、平成 20 年に首都大学東京の提案を受けて「震災復興まちづくり訓練」を実施したところ、現状では震災時に多大な被害が予想されること、被災後に地区に留まって避難生活を送ることは困難なこと、復興まちづくりで区画整理を行うと現在のまちの構造や雰囲気が一変してしまう可能性が高いことなどがわかりました。

そこで、ソフトの防災活動の環境整備に加えて、震災後も現在の地区の魅力を保ち続けられるよう被害の発生を低減し、被災後の復興まちづくりにおいても守るべきまちの骨格を明確にした、事前復興の考え方に基づく防災まちづくり整備構想を作成・提案しました。その考え方は密集事業の整備計画や防災街区整備地区計画に引き継がれています。また、平成 28～29 年度に実施された堀切菖蒲園の改良工事においても、緊急時に堀切菖蒲園へ避難しやすくするアイデアが活かされています。

震災復興まちづくり訓練



#### 防災街区整備地区計画の特徴

- 「目標」に事前復興の考え方を明記
  - ・震災に備えたまちづくりに事前から取り組む
  - ・下町特有の風情の継承と防災性の向上の両立
  - ・住みたい人が住み続けられるエリアの実現
- 下町風情の継承と防災性の向上の両立
  - ・水路跡や路地等で構成される既存の骨格が形成する街路空間や街並みの魅力を活かす
  - ・京成本線荒川橋梁架替事業と連携
  - ・主要な生活道路の整備、避難ルートの確保、建物不燃化の促進

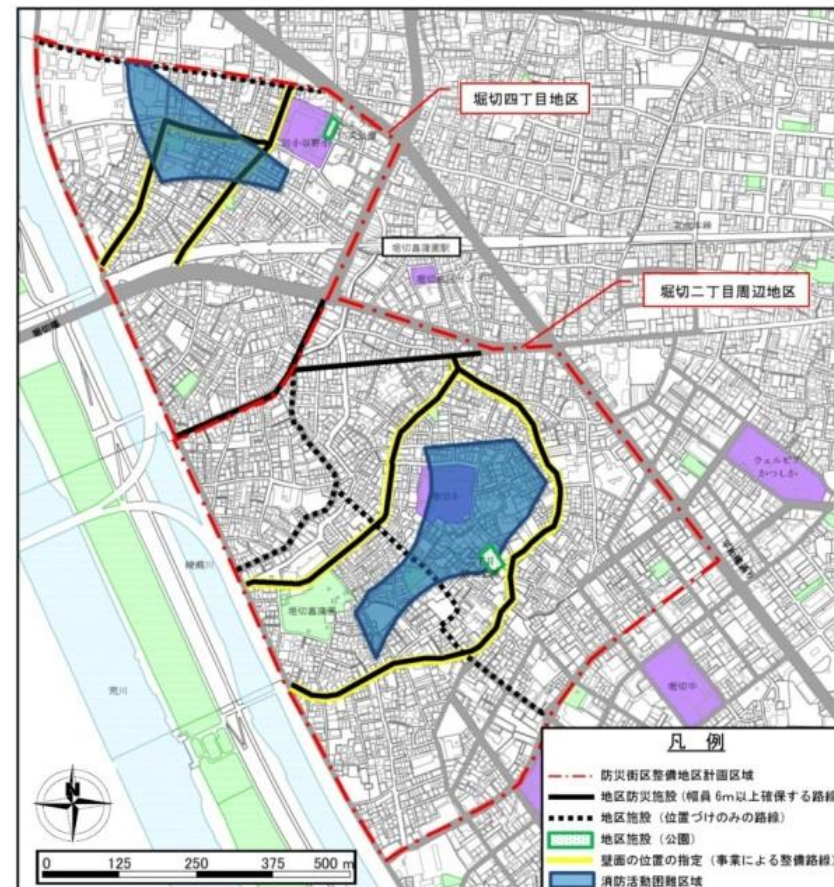
#### 堀切菖蒲園が新しくなります！

今年の7月から平成 30 年 3 月まで堀切菖蒲園改良工事が行われています。今回の工事で菖蒲園が拡張されると同時に、園路の拡幅やトイレ・休憩所のバリアフリー化など、より多くの方が楽しめる公園にリニューアルされます。

**トイレの改修**  
旧児童遊園との一体的な整備  
トイレも新しく！人工芝になってゆったりとくつろげるように。

**避難屏の設置**  
協議会での検討成果をもとに災害時に避難するための屏を新設。（图中の矢印 → の位置）

※平成 29 年の菖蒲まつり期間は工事を一時休止して開園される予定です。  
都市整備部公園課より



## 4 様々な主体と連携して取り組む地域活性化

地域活性化に対する住民の思いは、減少傾向にある住民や事業所を増やし、往年の地域の活気を取り戻すことにあります。そこで「暮らしやすい、暮らして楽しい、暮らし続けられるまちを目指す」ことを目標に掲げ、まずは暮らして楽しいまちを実現するために、既存の地域組織とも連携しながらまちの魅力を楽しめる様々なモデルプロジェクトを企画・実施してきました。

そのうち、最もヒットしたのが地域キャラクター「ほりきりん」の制作と提案です。当初は印刷物等への使用を想定したデザイン提案だったのですが、商店街のバナーや商品デザインにも使用されるようになり、商店街では着ぐるみまで作成してしまいました。この着ぐるみがいま、地区の各種イベントに引っ張りだこで大活躍しています。また、まちづくり活動のPRとニーズ把握を目的に菖蒲まつりや大凧揚げ大会で実施するアンケート調査では、毎回オリジナルデザインのほりきりん缶バッジを作成して回答者に配付しており、こちらも大人気です。

このような実験的な取組みに影響されてか、行政も全区展開で新たな施策を始める際に、堀切地区をモデルに実験を行うようになりました。その内容も、地域防災体制づくりのモデル事業、公共サイン整備のモデル事業、賑わいのある道づくりなど様々です。それら行政の取組みとも連携しながら地域活性化に取り組んでいます。

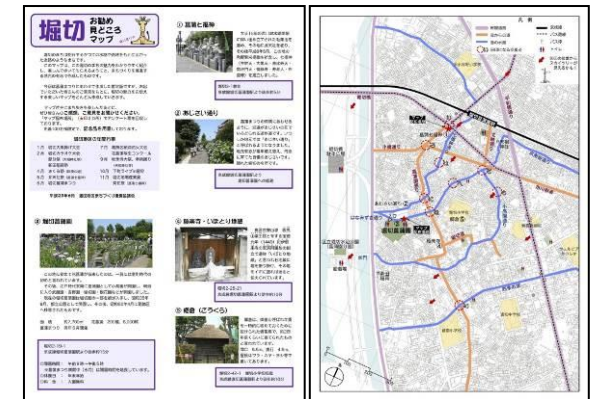
### ●ほりきりん【商店街と連携】



### ●缶バッジづくり【有志参加】



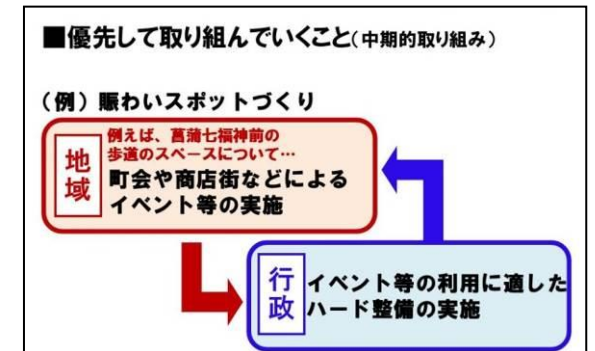
### ●見どころマップ【アイリス会と連携】



### ●大規模イベントでPR【実行委員会と連携】



### ●【官民連携】による賑わいのある道づくり



# 5 まちづくりの成果と今後の展開

堀切地区では、減少の一途をたどってきた人口に回復の兆しが見えてきました。特に14歳以下の子どもが増えています。また、地域全体で取り組む大規模なイベントも増えてきており、葛飾区政策・施策マーケティング調査では堀切地区におけるまちの賑わい感も上昇しています。

これらのまちの変化が、全てまちづくり活動の成果だとは言い切れないかもしれませんが、徐々にまち全体が変わりつつあることは確かです。今後はこの新たな流れに乗って「堀切地区まちづくり戦略（案）」に掲げた2つの目標「目標①：魅力ある駅周辺の環境整備」と「目標②：人の流れをデザインする」の実現に向けた取り組みを重ねていく予定です。既に、目標①の実現に向けて駅周辺区域の地権者を対象にアンケート調査を実施し勉強会の開催も呼び掛けています。目標②についてはまちの回遊性創出の実験として、町工場や商店、寺院等の協力を得ながら「わがまち堀切 魅力めぐり」という見学ツアーを企画・実施しています。

こうした取り組みは、まちづくりに積極的に携わろうとする人材が続かなければ継続できません。今後は若い人材の活躍の場をつくって世代交代を図り、地区外の団体とも積極的に交流・連携して人材を増やしながらかつ活動していきたいと思ひます。

**目標① 魅力ある駅周辺の環境整備** 住みやすく、魅力ある駅周辺を目指して

**■ 整備アイデア案**

- 駅前の人だまり空間を！
- 交通環境の改善
- 防炎性の向上
- 賑わいの“顔”づくり
- 多世代が住みやすい環境づくり
- 防炎性の向上
- 鉄道高架下の活用
- 地区センター
- 防炎性の向上
- 水物のせせらぎを活かした歩行空間を！
- 交通結節点機能に配慮した空間を確保
- 快適な歩行空間の確保

**■ 取り組みの方針**

- 賑わいの“顔”づくり
  - ① 賑わい：駅を中心とした賑わいの核を生み出す
  - ② 賑わい：鉄道高架下を活用する
  - ③ 賑わい：駅前広場を活性化させる
- 交通環境の改善
  - ① 歩道：駅周辺の交通結節点としての機能向上
  - ② 歩道：快適な歩行空間を確保する
  - ③ 歩道：駅と歩行者・自転車、バス・タクシーなど自動車との接触をよくなる
  - ④ 歩道：よりよい歩行環境をつくる
  - ⑤ 歩道：水物のせせらぎを活かした歩行環境をつくる
- 多世代が住みやすい環境づくり
  - ① 歩道：様々な世帯のニーズに応える
  - ② 歩道：駅近くの多世代交流や子育て支援の機能を果たさせる
  - ③ 歩道：駅周辺に若い世代の住居や施設を確保
  - ④ 歩道：多世代が楽しめる商業空間をつくる
- 防炎性の向上
  - ① 歩道：防炎性の課題を解決し、安全なまちへ
  - ② 歩道：駅周辺としての機能と配慮した駅周辺の整備を行う

**目標② 人の流れをデザインする** 今ある魅力・活動を有機的に結び、まち全体に賑わいが生まれる仕組みづくり

**■ 取り組みアイデア案**

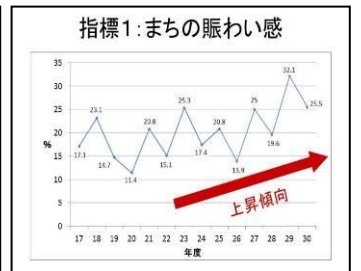
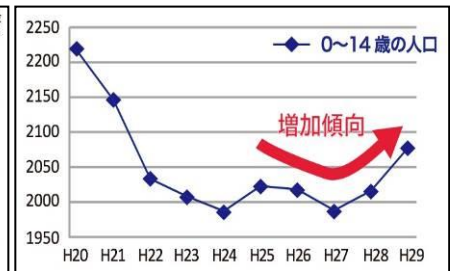
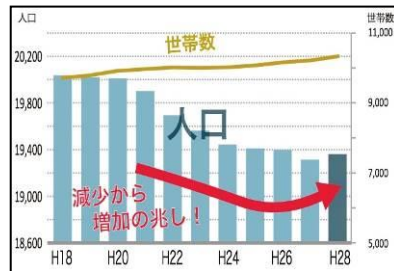
- ルート沿道の空き店舗を活用し、魅力スポットを生み出す
- イベントの開催による賑わいと人の流れの創出
- 河川敷を活用して名所に！
- 住民同士がふれ合う居場所を！

**■ 目標の具体的なイメージ**

- 堀切に住む人が楽しみ、様々な商店が並ぶ賑わいあるまち
- ファミリー層など、若い世代の人たちが魅力を感じ住みたくなるまち
- 駅を中心に南北をつないだルートを中心に賑わいが広がるまち
- 下町ならではの人と人のつながりが生まれるまち

**“人の流れのデザイン”のポイント**

- 旧小谷野小学校から堀切葛原園や河川敷をつなぐ南北軸上で取り組みを実施し、駅を中心に賑わいの広がりをつくる。
- 堀切内に住民同士のつながりの場にもなる取り組み拠点をちりばめ、東西にも広がる賑わいを演出する。
- 取り組み拠点を、それらをつなぐルートでの回遊性を確保し、賑わいを創出し、地域全体が賑わうまちにする。



●わがまち堀切魅力めぐり（町工場、商店、寺院等との連携）

